

Weekly



●2017~2018 年度国際ロータリー テーマ
RI 会長 イアン H.S. ライズリー

ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2017~2018 No.13 平成 30 年 3 月 16 日

●会長標語 会長 福山 真吾

たかがロータリー・されどロータリー

今週のプログラム

- 第 2502 回 (3/16)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- *3 月三祝 *新会員入会式
- *イニシエーションスピーチ
- ・ 淵上 安 会員

次回のプログラム

- 第 2503 回 (3/23)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話 台北中日経済文化代表処

副代表 張 仁久 氏

テーマ：台湾を取り巻く国際情勢と台日関係

2017-2018 年度全体事業 2500 回記念例会

広げよう日本の文化!

～育てよう! 思いやりの心、感謝の心、奉仕の心～

十一代 大樋長左衛門(年雄)氏

記念講演 & 茶会

2018・3・3(土) 京王プラザホテル八王子 4F・5F

平成 30 年 3 月 3 日(土)に第 2500 回記念例会が京王プラザホテル八王子にて盛大に行われました。

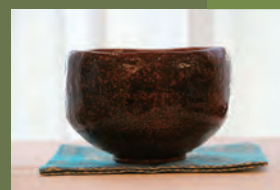
会員は先日詠えた半纏を身につけ、日本文化をアピールいたしました。



茶会

立礼式
5階 特設茶席

裏千家淡交会東京第八西支部田辺支部長他有志の方々によるお手前(茶の湯の作法)があり、立礼式にて約50名ごとのグループに分かれて行われました。参加人数188名

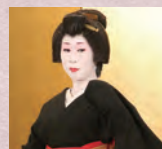
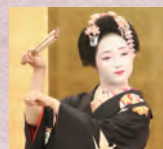




八王子の伝統芸能、琴の演奏、篠笛の演奏、日本舞踊などを茶会の順番待ちの方、茶会終了の方々などが鑑賞いたしました。鑑賞者160名

伝統芸能

(宴) 4階



十一代 大樋長左衛門(年雄)氏

プロフィール

陶芸、工芸を中心とした作品発表の他に、左官の技術に応用したインテリアデザイン、イタリア・ミラノサローネでの家具デザイン発表、中国では景德鎮、宜興などの「磁器」「紫砂」などの古来の伝統に新風を吹き込み、中国でブランド「四季芳土」を立ち上げた。また、北陸新幹線開業に際し、金沢駅内装デザイン、観光バスの内外装デザインなどを監修。大樋焼の伝統を継承しながら、あるいは現代アーティストとして、活動は国内外で多岐にわたる。また、工芸概念を拡げるための企画展、公募展などの発案、若手作家の育成にも尽力している。



記念講演

5階(翔王)

大樋焼十一代大樋長左衛門(年雄)氏による記念講演テーマ「私の襲名は時代錯誤なのか？」を1時間30分にわたり拝聴いたしました。大樋長左衛門氏の生い立ちから、茶道の歴史や作法のお話をわかりやすく時に楽しくお話しいただきました。入場者300名

TOSHIO OHI CHOZAEMON XI



講演会終了後、会員及び令夫人と茶会にご協力をいただいた淡交会の方々と交え一日の疲れを癒し、懇親を深めました。

懇親会



創業天保年間八王子の老舗呉服店「きものにしわ」の方々による着付けの実演が行われました。着付け初心者の方や、きものの知識がまったくない方なども興味深く見学されていました。参加者 100 名

着付けの実演

4階(宴)



第2500回記念例会も大好評のうちに終了いたしました。実行委員会の皆様、会員の皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



例会報告

第2500・2501回 供合例会
2018・3・3(金)

- ◇司会 山口覚会場監督補佐
- ◇開会点鐘 福山眞吾会長
- ◇食事と交歓 カレー
- ◇会長挨拶 福山眞吾会長



会長挨拶／
福山眞吾会長

- *先日の地区大会に大勢ご出席いただきましてどうもありがとうございました。ありがとうございました。
- *本日はおいでいただいた方々に満足して帰っていただけたよう、皆さんご協力の程宜しくお願い申し上げます。
- ◇幹事報告 橋本孝幹事



幹事報告／橋本孝幹事

- *本日の出席・ニコニコの発表は懇親会の席でいたします。
- *地区より昨年度ロータリー財団への寄付が目標額を達成したとのことバナーを受け取りました。
- ◇閉会点鐘 福山眞吾会長

ニコニコボックス

2018・3・3(土)

- ◆裏千家淡交会東京第八西支部
- ◆多摩南グループ
- ◆ガバナー補佐 松本 啓祐
- ◆グループ幹事 青木 訓行
- ◆東京八王子東RC
- ◆会長 佐藤 武文
- ◆東京八王子南RC
- ◆東京八王子北RC
- ◆福山会長・2500回記念例会を祝し講師大槌長左衛門氏をお迎えして。
- ◆橋本幹事・大槌長左衛門氏をお迎えして。第2500回記念例会にご出席ありがとうございました。
- ◆裏千家淡交会東京第八西支部
- ◆関根美樹(東京あけぼのRC)
- ◆田中貞男
- ◆西村・おめでとございます。本日3月3日は誕生日で88才を迎えました。1月骨折手術をして今リハビリしています。
- ◆田辺・2500回例会おめでとございます。
- ◆大石和春・福山年度の全体事業を祝つ
- ◆加藤政利・三浦、野口、大石 創元・千恵子、峰尾・2500回例会おめでとございます。
- ◆西川・本日着付のイベントをさせていただきます。
- ◆鈴木重春・検査入院のため欠席いたします。
- ◆坂下・妻の誕生日祝いありがとうございました。
- ◆馬場榮次・黒須弘道、森、竹松、土岐、石田、櫻崎、石井、河西、杉本、城所、鈴木重春、金子、天野、宮澤、大田吉彦、山口、諸星、倉田、山田、神辺、小沢、福田、中村、松島、相川、青木、浅川、三村、岸田、加藤直也、佐藤、池田、末木、大石創元・2500回例会おめでとございます。
- ◆小杉・全体事業「和」楽しみにしています。
- ◆瀬沼・記念講演おめでとございます。
- ◆市川・全体事業。長い1日となりますが宜しくお願い致します。
- ◆羽田・誕生月です。
- ◆村内・2500回記念例会おめでとございます。
- ◆小泉・2500回例会おめでとございます。



十一代 大槌長左衛門(年雄)氏と

(◆はご祝儀 順不同・会員敬称略)

卓話 台湾に残る日本人の足跡

2018.2.16 (金)



黒須隆一 名誉会員

台湾はご存知の通り1895年から1945年まで、50年間日本が統治いたしました。それから台湾統治の15年後1910年から1945年の35年間、朝鮮半島を日本は統治したわけですが、でも台湾は世界一の親日国です。一方朝鮮は、世界一の嫌日国です。それはなんでもなんだろうとよく話題になります。一つこれはよく言われることなんですけれど、国の成り立ちの違い、つまり民族性国民性の違い、これがあると思うんです。これは詳しい話は時間がなくてできないんですけど、もう一つは統治をした責任者の人たちの違いがあったんだという感じがします。そこで、今回3人の日本人の名前を挙げさせていただきます。

児玉源太郎と後藤新平

50年間で台湾当地に19人の

総督がおりました。初代は樺山資紀陸軍中将、二代が総理大臣もやった桂太郎、三代があの乃木希典、でも全部うまくいかなかった。そこで明治政府が切り札として、児玉源太郎を第4代総督に送りこんだわけです。児玉源太郎は、民政長官として、後藤新平をあてた。この方にはちに東京市長を勤めた立派な方ですけれども、この人は医学博士で、その人を同行した。この二人によつて台湾は劇的に変化します。今でも教科書に載っていますが、台湾の酒を飲むところに行つて、台湾のホステスの女性に後藤新平を知っているか聞くと、知つてますという。ごとうしえんしえいといつてよく知っています。それくらい有名で、台湾近代化の父といわれています。後藤新平はまず伝染病の根絶のため、120名の医師を派遣しました。10か所に診療所を作りしました。そして徹底して病気を治す努力をした。また伝染病について、衛生は大事なことで、上下水道の整備に努力した。23年間かかったそうですけど、これに全力を尽くした。東京よりも上下水道は早かったそうです。アヘンについては専売制を設けたそうです。もうすでに

やつている人はしょうがないので、許可して売る。その代り新たに吸つたものには、嚴罰を科す。これは今でも残っていますが、生物学に則つた統治、悪習でも民族の習慣は、日本人がだめでも絶対ダメということではなく、尊重した。時間をかけて改善するということです。有名なたとえがありますけど、ヒラメの目をタイの目につけかえることはできない、ヒラメはヒラメで理由があつてああいう目のつき方をしている。それから後藤新平で有名なのは、座右の銘として残っているのですが、「金を残す人生は下だ。事業を残す人生は中だ。人を残す人生が上だ。」当時の南北縦貫鉄道ですとか、港湾設備に十分力を入れました。製糖工場をつくり、台湾経済を支えた。殖産局長として新渡戸稲造を派遣した。今でも歴史に残っている人たちを、惜しげもなく台湾統治のためにつぎ込んだ。

明治31年の時は、国家予算は2億2千万円だそうです。にもかかわらず、児玉源太郎は、台湾のインフラ整備、開発に6000万円要求したそうですが、通らなかった。しかし翌年32年には4000万円確保したそうです。児玉源太郎は明治30年、退任

してから、55歳で明治39年に亡くなった。江の島に児玉神社がつくられた。予算はその時に11万円かかる。その時は日本も大変な不況で、3000円しか集まらなかったそうです。その話が台湾に伝わったら、2週間で残額全部送つてきたそうです。これだけ慕われたことはご理解いただけたと思います。後藤新平の胸像は今でも台湾に4つ作られています。先ほど言いましたように教科書にも載っています。

明石元二郎

7代目の総督でした明石元二郎の話です。大正7年に赴任しました。この人は、日露戦争の英雄です。諜報機関を駆使して、明石一人で2万人の兵隊に値するといわれました。そのくらい諜報の達人だった。この人は、日月潭というきれいな湖がありますけれど、ここに水力発電所を作りました。10万キロワット、これは高雄から台北までの電力をまかなえるものでした。それから縦貫道路を着工した。もつとすごいのは教育に力を入れた。台湾の人が親日な理由の一つに、教育のレベルが上がったことがあると思う。台北台南に師範学校を作つたり、工業農

業商業のそれぞれの学校を作つた。就学率は、50間で92%に上つたそうです。これは山岳民族、現住民も含めてです。山岳民族は今も16民族認められています。横の連絡はなかった。抗争はしているけれど、出身地はみな違い、言葉も違う。文字がなく、共通語がなかった。日本語が公用語になったそうです。これは世界で例のないことですと聞いています。教育に力を入れたので、日本に帰つてきてから、死んだら台湾に埋葬してくれと頼んだそうです。そのくらいの思いを持った人です。分骨して今台北のお墓に埋葬されている。まとめに入りますと、衛生とか医療、教育に投資することは、すぐに効果はあらわれないんです。効果は20年30年先に現れます。そういう点に日本は大変投資した。ですから日本統治10年経過してから、大陸の方から大量の移民があつたそうです。仕事があり、収入があり治安が良い、天国だ。それで中国人を捨てて、台湾人になった。こういうこともあるんです。今明治人を考えると、すごい人たちがたつたなと思います。明治人に敬意を表して、ご清聴ありがとうございました。

2017~18 年度国際ロータリー
第2750地区 地区大会

2月26日(27日)にかけて、第2750地区の地区大会がグランドプリンスホテル新高輪国際館バミールで開催された。

地区大会の目的は、「交歓と、感銘深い講演と、地区内クラブおよび国際ロータリー全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進すること」とされている。寺島清友地区大会実行委員長(東京武蔵府中RC)の歓迎の挨拶で、今回はフレキシブルでオリジナリティのある大会にしたとの紹介があった。具体的には、①新会員の歓迎昼食会の開催、②奉仕事業の披露ということを重点に行った旨の説明があった。今年の参加者は他地区からの参加者も含めると2600名余りという事であった。いつもより参加者は多かったようである。

恒例の挨拶が続き、服部陽子ガバナリエレクトの挨拶が終った後、小池百合子東京都知事が登壇し、挨拶をした。

2020年の東京五輪の成功のカギはパラリンピックにある。そのためにはロータリアンの協力が不可欠である。具体的には、1)パラリンピックに興味を持ってもらいたい。これには「TEAM BEYOND(チームビヨンド)」の活用が有効である。https://www.para-sports.tokyo/

2)東京五輪では50000ヶのメダルが必要になる。そのために、眠っている携帯電話などを提供してもらい、その中から金・銀・銅の資源を有効活用したい。今後、高齢化社会が加速する中で、バリアフリーなどを進めることで、優しい街づくりを推進していきたい。

3時半から記念講演。天摩由貴氏の「社会人として、アスリートとして」。天摩氏はロンドンパラリンピックでは陸上の選手、現在は「ゴールボール」に打ち込んでおり、リオ大会では5位入賞を果たしている。「ゴールボール」は視覚障害のある人達の球技で、鈴の入ったボールを転がして相手チームのゴールに入れる事を競うものである。曰く「私たちは音を頼りに戦っている」。天摩氏は株式会社マイトックという会社で勤務する傍らアスリートの道を進んでいる。応援してくれる会社の仲間のためにも2020年の東京パラリンピックでは結果を残したいと練習に励んでいる。現在の会社で働くようになって感じたことは障がい者であるということに必要以上に気を使われることが心の負担になるということ。健康者が困っている時にごくごく自然に声を掛けて支援するような気持ちで障がい者にも接して欲しい。そのためにはコミュニケーションとお互いの立場や考えを理解することが非常に大切であり、職場でも円滑な「ミ

ニケーションが図れるようになって、職場の雰囲気も変わり仕事も練習もやりやすくなってきた。これからは会社の人達にはもちろん、応援してくれるたくさんの人達へ、東京大会で結果を出すことによって恩返しをしたいと思っている。また、これからは障がい者と健康者の壁がない社会作りをしていきたいと考えている。障がいがあることが壁ではなく、障がいを知らないことによる誤解や溝が壁を作っている。お互いがお互いを理解し、「壁」のない社会を実現する一人になっていきたい。

東京大会に向けて、パラリンピックに向けてもゴールボールへ興味を持つてもらい、応援をしてもらいたい。(特記・天摩氏はスライド上で「障がい者」と表現していた。最近福祉の世界では障害者の「害」の字を敢えてひらがなにするのが多くなってきた。意味は明白明白。)

4時15分からは記念公演。筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科の皆さんとジャズピアノニストの大西順子さんのミニコンサート。前半は音楽科の生徒の歌と演奏。モーツァルト、山田耕作、ドビュッシー、ショパンなど。なかでも全盲のシンガーソングライターとして有名な佐藤英里(ひらり)さんの独唱は特に良かった。自作の「このうた」を披露した。深海の静けさと透明感の中に一筋の光がゆつくりと走るような歌

声は、聞く人のところに響くものがあつた。その一節。
「一緒に歩いてうたってみよう
みんなの声も重なっていくよ
そのひかりいっぱい集められたら
心と心に 虹がかかるよ」

後半は大西順子さんの演奏。キースジャレット(註…記者の知る唯一のジャズピアニスト)風の演奏で、時折左腕をふわつと浮かせる仕草がいかにもジャズっぽくて良かった。最後は音楽科の生徒達と大西順子さんで、「星の道しるべ」を歌ってフィナーレ。惜しみない拍手が鳴り止まなかった。

本会議は予定時間を少し超過して6時に閉会点鐘。半纏を着ての参加は少し照れくさくもあつたが、クラブから数多くの参加者もあり充実した半日であつた。お疲れ様でした。



東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<http://www.hachioji-west-rc.org>

会長 福山 眞吾 幹事 橋本 孝 広報委員会 青木清治 浅川立憲 原 巖 土岐静雄 諸星宗幸 金子裕二 寺澤大介